

平成 29 年度
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

共生ホーム よかあんべ

始良市加治木町反土 2378

電話 0995-62-5820 fax0995-64-3888

<http://www.yokaanbe.com/>

平成 29 年 10 月 12 日～

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・・・・・（地①-1～3）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 11 月 7 日 (19:30 ~ 21:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	荳口 川村 花田 清藤 笹田 塩満 福島 岩下 中村 桃木野 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画	【ご利用者の利用開始から 10 日間集中的にその人と関わりの中で得た情報を収集し見える化する】 《いつ》利用開始から 10 日間《どこで》関わった場面、情報を得た場面⇒事務所にて《誰が》スタッフ 全員《何を》ご本人に関すること全て《どのように》付箋一枚に一つの事柄とスタッフのサインを明記して 貼り付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	短期集中的に、ご本人の直接関わり、そこで得た情報を付箋に書いて集約していくことができたと思う。 また、その情報を基にカンファレンスを開きケアを導き出すことができていたと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	4	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	3	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	9	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用スタート時の情報は朝礼やカンファレンスを開催したり、ご本人と直接コミュニケーションをとり、 笑顔をもって接するようにして関係づくりを図ることができた。短期集中的に情報収集を行い、その情報 を付箋で集めていくことができた。その中で本人やご家族の困りごととも聞くことができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分からご本人に対して知ろうとする行動が出来なかった。サービス利用前にカンファレンスが開けてい なかつたり、暫定的なプランを把握できていないこともあった。はじめのカンファレンスにおいて、全 てのスタッフの意見が出されて会議に臨めるような投げかけや工夫がもう一歩だった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 目標：その人のそばで座って目線を合わせて本人の気持ちを話せる場をつくる。 いつ…利用開始時 どこで…よかあんべ及びご自宅で だれが…スタッフ全員が 何を…挨拶・自己紹介・話せる場をつくる どのように…その人のそばに座り、目線を合わせて本人の気持ちや話を聴くことができるようにする。 ※前年度の情報収集の見える化は今後も継続して行っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 7 日 (19:30 ~ 21:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 荳口 川村 花田 清藤 笹田 塩満 福島
岩下 中村 桃木野 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	3 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<p>【ご利用者の言葉があるがまま記録に残す】 《いつ》日々関わりのある場面《どこで》関わった場⇒記録を残す場《誰が》スタッフ全員《何を》その人の言葉《どのように》①ケア記録の本人欄にその人の「言葉」をそのまま記録②その時の介護者の言動を介護者欄に記録する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ご本人の言動に焦点をあてて記録できている時と、言葉で伝えられない方や変化の少ない方の記録にそれが反映されなかったところがあった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	9	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	4	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	4	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	9	2	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人の言動の事実を目を向けることや、直接その方の言葉を聞こうとしたり、他ライフサポートプランや個人情報ファイルを以前より意識して見ることができるようになった。その方の「～したい」ことをカンファレンス等で共有すること過程で意見の発言もできた。日々に中で可能な限り実現できるようにしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人の言動が記録に取り上げられていない日がある。またこちらの主観的な記録になっていることもある。言葉で伝えることが出来ない方や変化がない方の記録が同じような記録になっている。～したいを実現しようとスタッフで連携、協力をもっと積極的に図れば取り組めたことも多いと思う。ご本人のライフサポートワークの長期目標が理解できていなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 目標：ご利用者の言葉があるがまま記録に残し、カンファレンスでスタッフ間で共有する。 いつ…「～したい」の言葉を聞いた時 情報を得た時 どこで…関わった場所で だれが…スタッフ全員が 何を…「～したい」の言葉を記録に残す。 どのように…日々の関わりとカンファレンスの場面で、その人の「～したい」は何だろうと感じる姿勢を 持ち続ける。 ※前年度の情報収集の見える化は今後も継続して行っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 29 日 (19 : 30 ~ 21 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 笠口 川村 花田 清藤 笹田 堂之前 塩満
福島 岩下 桃木野 尾之上 中村 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	6 人	2 人	12 人

前回の改善計画

【カンファレンスの事前準備を具体的にする】
《いつ》気づいた時《どこで》気づいた場面⇒記録する場《誰が》スタッフ全員《何を》テーマに沿って意見を抽出する《どのように》①A3用紙の中央にテーマを明記したものをバインダーで置く。そこへスタッフが気づいたことを書き込み、記録者のサインを入れる。※気がかりな事柄からテーマを決めておく。

前回の改善計画に対する取組み結果

カンファレンスの定期的な開催が出来ておらず、それに対して提案や声を上げることができなかった。テーマに対してそのように受け身になっている実状があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	8	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	10	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	7	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	11	1	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご本人の変化等に対して即自的に支援を行えた。支援に対することはスタッフ間で相談をしたり、必要な場合はリーダーや上司に報告を行った。以前の暮らしや、現在の暮らしの情報を誰から何を知る必要があるのか意識することもできた。時には関係機関、病院、医師とも連携をとり支援できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ご本人の声なき声を理解するカンファレンスの手法の活用が未成熟であった。その時々でケアの仕方が変わってしまいますこともあった。カンファレンスの定期的開催や議題の提案ができなかった。以前の暮らし方が理解できていないし、その人らしさとは何か?理解に至らなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

目標：以前の暮らしの情報や知識に基づいたカンファレンスを継続し具体的なケアにつなげる。
いつ…毎週月曜日 14:00～ どこで…居間で 誰が…スタッフ全員(その日に出勤者)
何を…日常生活支援の具体策を
どのように…以前の暮らしの情報や知識に基づいた(介護の知識50の活用)カンファレンスを行い、具体的ケアを導き、議事録を残す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 29 日 (19 : 30 ~ 21 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 笠口 川村 花田 清藤 笹田 堂之前 塩満 福島 岩下 桃木野 尾之上 中村 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画

【「挨拶」から積極的に始める関係づくり】
《いつ》出会った時《どこで》出会った場面《誰が》スタッフ全員
《何を》挨拶を《どのように》自ら積極的に丁寧に挨拶を実践する。

前回の改善計画に対する取組み結果

出会った人と挨拶を交わすことができた。子供たちや、地域の方への挨拶も積極的にできた。玄関への出迎えが遅れることがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	2	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	10	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	5	4	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域で出会う方々へ自分から挨拶ができた。ご利用者と一緒に散歩したり、外(庭)で活動をしたりして地域の方と出会うきっかけをつくった。地域のサロン等に参加できるようにライフサポートワークに盛り込み支援できた。ご利用者の暮らしの様々な繋がりを知ろうとすることができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

その人の 24 時間の過ごし方や暮らし方を積極的に知ろうとしていない。ご利用者の地域の民生委員や地域資源を把握できていない。地域の人と会う機会が持てなかった。地域の人との関りがほとんどなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

目標 : 地域にある資源・行事・活動の情報を知る。
いつ…いつでも (情報がはいつの時、ピンときた時) どこで…どこでも (自宅 回覧板 公共施設等)
誰が…スタッフ全員、ご利用者 地域の方々
何を…地域にある資源・行事・活動を
どのように…情報収集しケア記録の地域欄に記入する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 12月 7日 (19:30 ~ 21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 荳口 川村 花田 清藤 笹田 堂之前
福島 岩下 桃木野 尾之上 中村 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	6人	0人	12人

前回の改善計画
<p>【その人と関わりのある事柄をケア記録の地域欄へ明記する】 《いつ》本人、ご家族、地域との関わりの中で《どこで》関わりの中で《誰が》スタッフ全員 《何を》人、場所、モノ、これまでの経緯等の情報を《どのように》ケア記録に記す際に、「地域欄」へ キーワード（固有名詞）を転機する。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p> <p>知り得た情報でも地域欄に記録する意識はあっても実際書けない。地域資源の活用やご家族や地域の方との情報共有ができなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	6	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	11	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	9	3	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	12	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	その人のつながりを知ろうと努め、その人たちとの関係が途切れないようにできた。公民館やサロンの活動の場にご利用者と参加できた。急なお泊りや訪問をその人のニーズに応じて行えた。自然災害での緊急の受け入れができた。ご利用者が「今日行きたい」といった希望に沿うことができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域資源の理解が出来ていない。また、自分たちの関りで完結していて、資源を活用できていない。その人のストレングスと知りながらも、それを支援に繋げられない。記録の地域欄に記入ができていない。変化に対して速やかな話し合いができなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p><u>目標：その人と関わりのある事柄をマップ化して共有する。</u> いつ…会議や研修の場で <u>どこで</u>…よかあんで <u>誰が</u>…スタッフ全員で <u>何を</u>…その人と関わりのある事柄を <u>どのように</u>…スタッフ全員で情報を出し合いそれをマップ化して支援につなげていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 7 日 (19 : 30~21 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 荳口 川村 花田 清藤 笹田 堂之前
福島 岩下 桃木野 尾之上 中村 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	1 人	3 人	12 人

前回の改善計画

【地域との協働イベントの開催】
《いつ》平成 29 年度内《どこで》萩原を中心とした地域で《誰が》スタッフと地域住民、行政、学校機関、医療・福祉事業所等皆で《何を》ゴミ拾い活動《どのように》地域住民が主体となるよう皆でイベントを作り上げていく過程を大切に進める。

前回の改善計画に対する取組み結果

ビューティフル作戦（ゴミ拾い活動）を地域の方と運営推進会議等の場を活用して、関係者と話し合い企画することが取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所）との会議を行っていますか?	0	2	4	6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	4	7	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	1	1	5	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	7	1	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域校区のコミュニティ協議会に所属して、話し合いや活動の場で地域の方と交流することができた。地域自治会や学校機関から認知症サポーター養成講座等の依頼を受け包括支援センターと共に協力して取り組むことができた。総合事業や地域のサロンに地域住民でもあるご利用者と参加することができた。近隣の子供たちが遊びにきたいと親御さんからも話があったり、遊びにきてくださった。地域の公民館で 3 B 体操教室等を定期的に開催し、地域へ出ていくことができた。夏祭りでの地域交流ができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

他の地域の事業所が企画する活動への協力が不十分だった。地域活動への積極的な参加ができなかった。参加する機会を事業所全体で作り出すことが難しかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

目標：ご利用者とスタッフが一緒に地域へ出ていく機会を、地域の方と協働でつくる。
いつ…運営推進会議 どこで…萩原公民館で 誰が…担当者及びスタッフ
何を…地域の活動について
どのように…ビューティフル作戦や夏祭り等これまで地域協働で行ってきたものを地域活動として展開できる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (19 : 30 ~ 21 : 00)

7. 運営

メンバー 荳口 川村 清藤 笹田 塩満 福島 岩下
桃木野 尾之上 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	2 人	2 人	12 人

前回の改善計画	
<p>① 【家族と意見を交換できる場づくり】 《いつ》今年度末《どこで》家族が交流しやすい場所《誰が》スタッフとご家族《何を》よかあんべの運営について《どのように》事業所の取り組みの報告や運営方針等の共有、他ご家族の意見を聴く</p> <p>② 【地域との協働の場への参加】 《いつ》一年を通じた様々な地域の方との協働の機会《どこで》その機会の場で《誰が》スタッフ全員《何を》参加し触れ合う《どのように》必ず、スタッフは年一回以上その場に参加することができる。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>① ご家族との意見交換会(家族会)を企画、実施して参加することができた。一部のご家族との直接的な交流に限られていた。</p> <p>② 元気よかつどい、スクールガード、地域のサロン等へ参加することができた。地域の方と何か協働してというのは特別できなかった。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	5	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	2	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	3	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	8	2	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	苦情や意見は管理者やリーダーへ伝え反映している。ご家族への行事案内や機関紙を発行して現状を報告している。敬老会等家族と祝うことができた。スクールガードを通して地域の方と協力できた。職場の改善点を考え、スタッフへ伝えて上司へも報告した。会議の場でも発言することができた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域の方との交流する機会ができていない。運営推進会議へのご家族の参加が不十分だった。スタッフが交代で地域活動へ参加できなかった。自分の意見を伝えられなかった。地域の活動に消極的だった。地域の方の声を聴く機会を自分はなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>目標：会議の場で皆がアイデアを出せる討議の在り方を検討し実施することができる。</p> <p>いつ…職員会議、研修等 どこで…皆が集まる会議等の場で 誰が…そこに参加したスタッフ全員 何を…討議法、BS法(ブレインストーミング法)を どのように…検討課題の中でBS法で討議するテーマを設定して、BS法を用いて検討することを継続する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (19:30 ~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 荳口 川村 清藤 笹田 塩満 福島 岩下
桃木野 尾之上 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画

【自分たちで年間研修計画を立案できる】
《いつ》平成 28 年度 2 月 3 月の職員研修《どこで》よかあんべの職員研修にて《誰が》スタッフ全員
《何を》職場内年間研修計画《どのように》まずは、学びたい要素を抽出して、全員で学ぶ必要のあるものを整理して計画を立てる。ほか、個人のスキルアップ内容や、組織が求めるスキル内容に分類も反映できるように整理する。

前回の改善計画に対する取組み結果

年度末の職員研修において、スタッフ全員で研修テーマになる課題を抽出することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	8	1	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	3	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	3	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	3	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

職場内研修にはほぼ全員参加できた。職場外研修や資格取得研修等の情報や機会を積極的にスタッフに提供できた。参加した研修の復命書を記録してその知識の整理や振り返り、共有に活かした。実務者研修や認知症ケア専門士、介護福祉士等の研修や取得試験に向けて取り組めた。インシデントアクシデント記録を残し、再発防止に努めた。連絡会には毎回参加できた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

自分から積極的に研修の参加や研修内容の提案ができなかった。リスクマネジメントに関する研修会やカンファレンスが不十分だった。職員研修を欠席することがあった。連絡会に参加できなかった。業務優先になりリスクを考えられない時があった。資格取得への目標がなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

目標：自分たちで研修年間計画を立案できる。
いつ…平成 29 年度 2 月 3 月の職員研修で どこで…よかあんべの職員研修で 誰が…スタッフ全員が 何を…職場内年間研修計画を どのように…学びたい要素を抽出して全員で学ぶ必要があるものを整理して計画を立てる。ほか、個人のスキルアップ内容や組織が求めるスキル内容に分類も反映できるように整理する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 26 日 (19 : 30 ~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 荳口 川村 清藤 笹田 塩満 福島 岩下
桃木野 川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画
【できる行動を継続できる】 《いつ》その時《どこで》ご利用者との関わりの中《誰が》スタッフ全員 《何を》皆で決めた行動を《どのように》①視線を合わせる②その人の名前を呼ぶ③ドアはノックこれらを継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
プライバシーに配慮できていないことがあった。ノック忘れや、恥ずかしさへの配慮が欠けていたことがあった。気づかないうちに強制的な感覚を与えたり、「ちゃんづけ」で呼んでいたりすることがあったと感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	11	1	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	9	1	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	1	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束、虐待はしていない。ご利用者やご家族と視線を合わせてコミュニケーションをとれた。一呼吸おいたり、ドアノックを心がけることができた。心地よい環境づくりに努めた。入浴時に恥ずかしくないように配慮した。トイレ誘導の声掛け方に配慮した。行政や関係機関と共に成年後見などの話し合いができた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	親しみから「ちゃんづけ」で名前を呼ぶことがあった。ノック忘れや恥ずかしいことへの意識が薄く配慮に欠けていたことがあった。自分で気づかないうちにご利用者の行動を制限している場面があった。気づかないうちに表皮剥離等の発生があった。声掛けの中で強制的な感覚を与えていることがある。成年後見制度の理解ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
目標：全体で人権・プライバシーに関する月間改善目標を掲げて取り組んでいく。 いつ、どこで…よかあんの全体会議の場で <u>誰が</u> …スタッフ全員が 何を…月間改善目標を どのように…皆で決定し共有し、その達成度合いを確認し合い、来月の目標へつなげる。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	14	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	13	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	12	1	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	14	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・常勤職員の 2/3 以上が分かるように、スタッフ全体数、常勤スタッフが分かるように明記しておいてほしい。
- ・ご利用者の変化に気づくことが大事であり、その人に向けた取り組みになってほしい。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・地域との連携、協働のところではビューティフル作戦（ゴミ拾い大会）等に取り組めており、凄いことだと思う。そういうことが可能になっているので、この自治会全体の行事も協働してできるのではないかと。例えば、夏祭りを公民館周辺で一緒に行ったらどうか？等地域の方からの声もありました。
- ・ビューティフル作戦は、参加者は多かったが、この自治会の住民の参加が少なかった。地域の方がそれを理解していなかった、分かりにくさがあった。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・課題に対する取り組みが 5W1H で何をどのようにしていくのか分かりやすく表記され、取り組みやすいと思う。
- ・その目標の期間が示してあれば、その効果（結果）が明確になりスタッフの意識も持ちやすいと思う。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議にはいるが、この評価自体が外部の人にとって分かりにくい（評価しにくい）ので、その時々で各項目を評価していく方法はどうか？

【改善計画】

- ・事業所自己評価で取り組んだ、9項目の具体的改善計画を丁寧に実行し、運営推進会議の場でその都度報告を行うことを継続する。
- ・9項目の具体的改善計画は、見える化し、その取り組みの中心となるスタッフをおくようにし、計画実行していく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	12	0	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	10	0	5
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	12	0	3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	12	0	3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	11	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・嫌な臭いは感じない。
- ・玄関は解放されて、入りやすい。すぐにスタッフの返事はあるが、出てくるのに時間があり、少し気を遣ってしまうことがある。
- ・庭や外での食事の場面は良いと思います。
- ・事業所内での味噌づくりなどの活動時あがりますが、臭いなど不快なことはない。
- ・玄関でスタッフが家族の本音を聴いてくださる。それでストレス緩和にもなっています。介護離職などの問題もある中でありがたい。

【前回の改善計画】

- ・夜間の施錠はどうされているのか？→夜間は勤務者も少なく、常時の見守りも難しくなり施錠をして、朝は早くから解放している。また、眠りスキャンといって見守り機器を活用している方もいる。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・母が時間を問わずよかあんに早くから行くことがあるが受け入れてくださる。
- ・玄関の施錠や、電話はご利用者からの緊急連絡や命をつなぐものにもあるので、その意識を事業所が持つことは大事。
- ・腰高窓はご利用者の拘束にもなる。掃き出し窓になっているが、その分リスクもある。
- ・よかあんで地域の方が参加できる活動を増やしたらよいのでは。
- ・以前は塀が高かったが、今は無くなり中も見える状況になって、それで交通事故なども起きてはいない。
- ・以前は、事業所の前の交差点も交通事故が多かった。

【今回の改善計画】

- ・物理的環境に変化が生じた場合、速やかにその問題点をスタッフと会議等で抽出し、その対策を検討する。
- ・ご利用者と共に地域へ出向く機会を様々な場面で作ります。
- ・玄関の出迎え、朝の開錠、電話対応を適切に実施する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	14	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	14	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	13	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	12	0	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	12	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・挨拶はして下さる。
- ・地域に出ているスタッフが固定され、他のスタッフの地域への参加する機会がない。
- ・台風時や、ほかの相談事に対応してくださっている。

【前回の改善計画】

- ・朝からゴミ拾いしている姿を見ます。
- ・朝早くから勤務されて素晴らしいと思います。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・事業所近辺で救急車に気づいた時には、スタッフも気にかけるようにしています。先日は事業所ご利用者が運ばれる事態もありました。交通事故にも気を付けていきたい。
- ・スタッフの運転で気になることもあれば教えてほしい。

【改善計画】

- ・朝のゴミ拾いは継続していく。
- ・元気な明るい挨拶をする。
- ・地域のサロンや自治会活動に、ご利用者と共にスタッフも参加する。
- ・参加にはできるだけスタッフが交代で参加できるようにする。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11	0	4
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	10	4	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	11	0	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	14	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7	0	8

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所開設された頃よりも、ご利用者を外で見るのが少なくなったようです。
- ・事業所内での活動はいろいろされているようです。
- ・ご利用者が地域のグランドゴルフ大会に参加されたり、スタッフも参加されたり楽しんでおられます。
- ・近所の K さんが大正琴を持って行き来する姿も見えています。

【前回の改善計画】

- ・長寿会は平成25年11月からサロンを実施。地域の方へ活動の案内、声掛けをしてきました。その中でよかあんべのご利用者になった方もおります。その方にスタッフが付き添って参加してくださっているのはありがたいです。
- ・地域の情報も事業所で得られており、台風時も地域の方を一泊させてくださっている。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・Nさんの看取りの時には、地域の方が頻回に事業所にきてくださった。それにより、地域の方の事業所の見方も変わったことを実感できた。
- ・元気な動けるご利用者も多くいる。ご利用者が仕事ができる環境づくりも進めていきたい。

【改善計画】

- ・ご利用者の住まいの地域サロン担当者等と情報交換を行い、ご利用者の参加が継続してできるようにする。
- ・ご自宅での担当者会議を開催する時に関係者と共に話し合いができるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	15	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	14	1	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	10	3	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	15	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	15	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・会議やその姿勢に対し、真摯に取り組んでおられ、今後も一緒に参加させていただきたいと思っている。
- ・医療者という立場から、専門の情報提供も行える場として考えている。
- ・地域との連携ができている。

【前回の改善計画】

- ・加治木ビューティフル作戦は、地域の方ができるだけ参加できるようにしたい。
- ・当会議に継続的に参加していきたい。
- ・様々な情報交換の場になっている。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・当会議の場では実名で話し合いができる関係を築いていきたい。様々な会議でも、実名が上がらないと、その課題解決に向けたイメージが作りにくいので、できるだけ実名で話ができることはありがたい。
- ・個人情報の管理はあるが、それだと地域資源と結び付けられないことがある。

【改善計画】

- ・加治木ビューティフル作戦や夏祭り等において、地域住民と共に地域住民も主体的に参加できる機会となるよう目的を共有していく。
- ・萩原公民館にて、毎月一回当会議の開催を継続していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	7
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	5	7
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5	1	9
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	14	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	12	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災計画を見たことがないし、知らない。
- ・防災訓練には参加されている。
- ・台風時等、地域の方が避難され助かっている。

【前回の改善計画】

- ・防災計画を地域の方は知らないし、運営推進会議メンバーも知らない。
- ・消防避難訓練には毎回、地元の消防団長に参加、指導をもらっており、協力している。
- ・運営推進会議の機会に防災計画を伝えていったほうがよい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・桜島海底噴火による津波などあるが、海拔や時間からして事業所から動かないことも大切。
- ・夜間はスタッフが手薄になり、地域の方への「知らせ」と、協力関係が必要が必要。

【改善計画】

- ・運営推進会議等を活用して、年度始めには防災計画を報告することができる。
- ・台風や災害は状況を予測しながら、事業所の開放等の情報提供を自治会へ行う。
- ・消防団長ほか、防災訓練には地域の住民の参加ができるようにする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴 ① 地域とのつながり（地域交流スペースの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア） ② 子ども110番、始良市認定「介護の相談 語らい処」の設置、始良っ子見守り隊参加 ③ 地域行事への参加、朝のゴミ拾い ④ ライフサポートプランの導入 ⑤ タッチフォンの貸与 ⑥ 認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス ⑦ 家族会の実施 ⑧ 社会貢献活動の受け入れ ⑨ 公民館での体操教室の開催（3B体操等） ⑩ 始良市総合事業住民主体活動実施 ⑪ 運営推進会議を毎月、公民館で実施 ⑫ 住民協働のゴミ拾い活動の開催 ⑬ 加治木・宝島に同一法人の事業所があり、また北海道にも関連事業所がある。お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。 ⑭ 始良市小規模連絡会に所属しており、情報共有を図っている。
事業所名	共生ホーム よかあんべ	管理者	荳口 淳	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	8人	0人	1人	1人	3人	3人	2人	19人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り組んだ、9項目の具体的改善計画を丁寧に実行し、運営推進会議の場でその都度報告を行う。 出会うご利用者一人一人について、どんな情報をどのように集めていく必要があるのか、そこからどのようにケアを展開するのか？その人の必要とする方々と共に実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の改善計画への意識は上がってきており、実行も伴って出来た項目と出来なかった項目を分かれた。運営推進会議では報告は出来るようになっている。 ご利用者が継続している暮らしぶりや関係する人たちとのつながりを切らないように支援ができてつつあるが、その関係者との関係づくりが継続的に出来ていないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する取組みが5W1Hで何をどのようにしていくのか分かりやすく表記され、取り組みやすいと思う。 その目標の期間が示してあれば、その効果（結果）が明確になりスタッフの意識も持ちやすいと思う。 地域との連携、協働のところではビューティフル作戦（ゴミ拾い大会）等に取り組めており、凄いことだと思う。そういうことが可能になっているので、この自治会全体の行事も協働してできるのではないかと。例えば、夏祭りを公民館周辺で一緒に行ったらどうか？等地域の方からの声もありました。 ビューティフル作戦は、参加者は多かったが、この自治会の住民の参加が少なかった。地域の方がそれを理解していなかった、分かりにくさがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り組んだ、9項目の具体的改善計画を丁寧に実行し、運営推進会議の場でその都度報告を行うことを継続する。 9項目の具体的改善計画は、見える化し、その取り組みの中心となるスタッフをおくようにし、計画実行していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 物理的環境面への配慮は継続しながら、私たち自身が地域へ出向き関係づくりを図っていく。 夜間のみ施錠は継続する。 上半期はスクールガードを通して子供たちの安全を守れるよう旗を持ち交差点を見守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年からは、介護予防事業活動も含めてご利用者と地域へ出ていき活動する機会を作り出すことができた。 夜間の施錠は実施継続したが、来所者の玄関対応を適切に、電話対応は緊急的な意味も込めて意識する。 始良っ子見守り隊に参加して、スクールガード、交差点の立哨が実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌な臭いは感じない。 玄関は解放されて、入りやすい。すぐにスタッフの返事はあるが、出てくるのに時間があり、少し気を遣ってしまうことがある。 庭や外での食事の場面は良いと思います。 事業所内での味噌づくりなどの活動時あがりませんが、臭いなど不快なことはない。 玄関でスタッフが家族の本音を聴いてくださる。それでストレス緩和にもなっています。介護離職などの問題もある中でありがたい。 夜間は勤務者も少なく、常時の見守りも難しくなり施錠をして、朝は早くから解放している。また、眠りスキャンといって見守り機器を活用している方もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物理的環境に変化が生じた場合、速やかにその問題点をスタッフと会議等で抽出し、その対策を検討する。 ご利用者と共に地域へ出向き機会を様々な場面でつくりだす。 玄関の出迎え、朝の開錠、電話に対応を適切に実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 朝のゴミ拾い、挨拶は徹底して取り組んでいく。 地域行事には、ご利用者が参加することができるようにスタッフも同行する。 地域行事には、できるだけ多くのスタッフが交代で参加できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ全員とはいかないが、固定した勤務者が実施することができた。 地域のサロンにご利用者と共にスタッフも参加することができた。 努力はしたが、参加するスタッフに偏りがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶はしてくださる。 地域に出ているスタッフが固定され、他のスタッフの地域への参加する機会がない。 台風時や、ほかの相談事に対応してくださっている。 朝からゴミ拾いしていたり姿も見ます。 朝早くから勤務されて素晴らしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のゴミ拾いを継続していく。 元気な明るい挨拶をする。 地域のサロンや自治会活動に、ご利用者と共にスタッフも参加する。 参加にはできるだけスタッフが交代で参加できるようにする。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合事業の地域での取り組みにおいて、ご利用者が地域に出ている場を地域の方々とつくり出すことができる。 ・その人の地域での暮らしを支える人やものを知り、その人たちに知らないことや相談を持ち掛け、一緒に解決する姿勢を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業において、地域の運動推進員さん等と協力して公民館でのご利用者の活動の場を作り出すことができた。 ・全員とはいかないが、その人と関係する人たちに相談をしていくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所開設された頃よりも、ご利用者を外で見るのが少なくなったようです。 ・事業所内での活動はいろいろされているようです。 ・ご利用者が地域のグランドゴルフ大会に参加されたり、スタッフも参加されたり楽しんでおられます。 ・近所のKさんが大正琴を持って行き来する姿も見えています。 ・長寿会は平成25年11月からサロンを実施。地域の方へ活動の案内、声掛けをしてきました。その中でよかあんべのご利用者になった方もおります。その方にスタッフが付き添って参加してくださっているのはありがたいです。 ・地域の情報も事業所で得られており、台風時も地域の方を一泊させてくださっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の住まいの地域サロン担当者と情報交換を行い、ご利用者の参加が継続してできるようにする。 ・ご自宅での担当者会議を開催する時に関係者と共に話し合いができるようにする。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加治木ビューティフル作戦を地域の方々との協力のもと開催することができる。 ・総合事業の取り組みを通して、地域主体の考えを念頭に当会議のメンバーへの相談、企画等を行っていく。また、その経過を報告するよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場を活用して、地域の方や行政、関係機関と協力して企画することができた。 ・公民館を活用し、月2回は体操教室を継続して開催することができた。その経過を当会議で報告を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議やその姿勢に対し、真摯に取り組んでおられ、今後も一緒に参加させていただきたいと思っている。 ・医療者という立場から、専門の情報提供も行える場として考えている。 ・地域との連携ができています。 ・加治木ビューティフル作戦は、地域の方ができるだけ参加できるようにしたい。 ・当会議に継続的に参加していきたい。 ・様々な情報交換の場になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加治木ビューティフル作戦や夏祭り等において、地域住民と共に地域住民も主体的に参加できる機会となるよう目的を共有していける。 ・萩原公民館にて、毎月一回当会議の開催を継続していく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の開催の計画を当会議メンバーへ報告し、できるかぎり地域住民と協力して実行できるようにする。 ・柘城校区、自治会の防災訓練へ参加する。 ・台風や災害は状況を予測しながら、事業所の開放等の情報提供を自治会へ行う。 ・火災他、大災害時の避難の手段を具体的にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を伝えることができなかった。 ・訓練は地域の消防団長さんに参加いただき指導をもらうことができた。 ・地域の防災訓練に参加したが、毎回ではなかった。 ・台風災害が予測される時には避難場所として情報提供できた。 ・火災時は具体的になっているが、大災害時は未確定な部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練には参加されている。 ・台風時等、地域の方が避難され助かっている。 ・防災計画を地域の方は知らないし、運営推進会議メンバーも知らない。 ・消防避難訓練には毎回、地元の消防団長に参加、指導をもらっており、協力している。 ・運営推進会議の機会に防災計画を伝えていったほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議等を活用して、年度始めには防災計画を報告することができる。 ・台風や災害は状況を予測しながら、事業所の開放等の情報提供を自治会へ行う。 ・消防団長ほか、防災訓練には地域の住民の参加ができるようにする。

